

2017年7月5日
株式会社インプレスR&D

<http://nextpublishing.jp/>

世界一詳しいマストドンニュース連載の書籍化！
『マストドンつまみ食い日記』発行
ムーブメント最初の8週間を1冊にパッケージ！

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『マストドンつまみ食い日記』(編者: ITmediaNEWS 編集部)を発行いたしました。

『マストドンつまみ食い日記』

<http://nextpublishing.jp/isbn/9784844397823>



著者: ITmediaNEWS 編集部
小売希望価格: 電子書籍版 700 円(税別) / 印刷書籍版 1100 円(税別)
電子書籍版フォーマット: EPUB3 / Kindle Format8
印刷書籍版仕様: A5 判 / 一部カラー / 本文 92 ページ
ISBN: 978-4-8443-9782-3
発行: インプレス R&D

<< 内容紹介 >>

【世界一マストドンに詳しい連載の書籍化！】

2017年4月に突如巻き起こったマストドンのムーブメント当初からいち早く連載をスタートし、現在も世界一詳しいニュースとして人気を集めている、ITmediaNEWS 編集部による「マストドンつまみ食い日記」。その最初の8週間分を1冊にまとめて書籍化しました。

ブームの始まりから2ヵ月間に起こった数々の事件やイベントを取材し網羅している他、国内における代表的なインスタンス(サーバー)である mstdn.jp の管理者・ぬるかる氏への単独インタビューも収録。マストドンの歴史と未来を語るために欠かせない1冊です。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

マストドンに ITmediaNEWS 編集部がハマっていく様子を時系列で紹介

Webの勃興期、ソーシャルネットの出発的に話題を呼んだ人々もMastodonに興味を持ち始めたよう、堀江貴文さんがhoriedon.comインスタンスができたよとツイートしている。作ったのはドワンゴのN高卒のエンジニア。まだ若い。

一方、kinugasa.meをスタートした家入一貴さんは「うわ！黄色い！見辛い！！！」と言いつつもその見辛いインタフェースを変えようとしな。鉄人でなければ数分以上その画面を見ることは難しいだろう。しかし、人を選ぶインスタンスを作って、そこに人が集まったり集まらなかったりする。それもありがたMastodonのいいところではある。

自覚はあるんだ



さらにUEIの清水亮さんは、企業公式名乗るんなら自前でインスタンス立てるよと煽っている¹⁵。

そんな日本のインスタンスを集めたランキングリストでいいのがあった。「日本のマストドンインスタンスの一覧」¹⁶だ。20人以上で定切りし、ユーザー数順に掲載している。現在79。インスタンスの管理人と口上が書かれているのでわかりやすく、便利だ。読んでいくと味わい深い。オタク女子、アイカツ、アイマス、ラブライブ、ポカポカ。ポカポカのインスタンスにははくも入ったよ。

NetBSDとかで自宅サーバを立ててたそこのあなたもやってみてはどうかしら。FirstClassをやってた君もどうかかな。(2017年4月19日)

いま話題の「Mastodon」って何？ 怒濤の1週間で振り返る／この1週間で何が起きたのか。《村上万純》

この1週間で何が起きたのか。

ここ最近、急速に注目を集めているWebサービス「Mastodon」(マストドン)。ITmediaでも4月13日に紹介記事を書きましたが、この1週間で状況は目まぐるしく変化しています。

mastodon.socialのトップページ



「結局、マストドンって何なの？」というそもそもの疑問も含めて、この1週間の主な出来事を改めて振り返っていきます。

4月13日：「Mastodon」記事掲載

13日に掲載した記事では、「マストドンとは何なのか」について紹介しました。オープンソースで誰でも自由にインスタンス(サーバ)を作れるのが特徴で、4月19日時点で1000以上のインスタンスと、36万以上のユーザーが存在します(サーバを作るのに技術的知識は必要)。

しばしば「分散型Twitter」と言われますが、その特徴を表すなら掲示板とTwitterを合わせたようなサービスともいえます。

大学院生のnullkal(ぬるかる)さんが立てた「mstdn.jp」、イラスト投稿SNSのピクシブによる「Pawoo.net」などのインスタンスが多くユーザーを集めています。他にも「技術者向け」「東京在住者向け」「ゲーム愛好者向け」など、さまざまなインスタンスが日々立ち上がっています。

mastodon.xyzのインスタンスリスト(4月19日時点)

name	users	posts	instances
1	100000	100000	1000
2	10000	10000	100
3	1000	1000	10
4	100	100	1

何かしらの共通点や目的を元に集まった人々が交流する様子は、往年の掲示板やチャットをほうふつとさせます。自分に合った村(インスタンス)を探し、そこに居住し、村人(ユーザー)と交流する。時には他の村人ともそれがマストドンの醍醐味(だいごみ)の1つかもしれない。

世界最大にまで成長した mstdn.jp の管理人ぬるかる氏への単独インタビューを収録

ん)は何かについては別記事で解説している¹⁶。

この番組の中で、今や世界最大のインスタンスであるmstdn.jpの管理人であるnullkalさんの肉声コメントが流れたのだが、そこでITmediaが言及されていた。

「すごい軽い気持ちで運用してたんですけど、いつの間にかITmediaとかが取り上げ始めて、すごい人が増えてきて、サーバの負荷がすごいことになって」

言及されたITメディア(正しくはITmedia NEWSです)



す。すみません。そのnullkalさんが、「夕方あたり多分大事なお知らせを投げたいと思います」とツイートしている。

mstdn.jpのローカルタイムラインは「jp消さないでほしい」「管理人交代?」「サーバ移転?」「ユーザーリセット?」など心配する、または楽観視するツイートで賑わっている。(2017年04月21日)

編集部はこうしてマストドンにはまっていった《松尾公也》

マストドン日記の連載開始から8日目、9日目。まだまだ続きそう。

4月13日、編集部のSlackでのこんな会話から、ITmedia NEWSのマストドンへの取り組みは始まった。こんなビッグウェーブになるとは想像もせずだ。

「身近でバズってる、Twitterの新しいライバル」¹⁷
「そうそう1週間前くらいからバズってるんですがあとで読む状態にして

ます……」

「これも気になっていました。やってみるといいかもですね……。」

「アカウントは今のうちにとっとくべきかと」

「既に日本語化されているんですね(びっくり)。が、ユーザー登録画面のサーバ(選ぶ)ところで止まった。どうすりゃいいんだこれ……」

「え、そんなのあったっけ?」

「なにか間違っているかも! サーバ(選んで)登録しないといけない??」

その後、

「Twitterのジャック・ドーシーとの心温まる話も」



「いまローカルタイムラインというところを流し読み中。ああ、これは最初の頃のきれいなツイッターに戻りたい人たちの流れだな」

「潜入記事待ってます!」

「Twitterおじさん・おばさんたちがこんなふうにいるから使っている段階なのだろうな」

「今だけはやってすぐ廃れそう感もすごいあるけど、さてどうなるか!」

「NEWS公式アカウントも作ってみようかな」

「メディア初! ?w」

「jpは22歳の学生さんがつくった説」

といった会話があって、岡田有花さんの最初の記事につながる。

【ポストTwitter? 急速に流行中「マストドン」とは】

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1704/13/news131.html>

4月13日：編集部ブーム初日。岡田さんの動きが素早かった

【ポストTwitter? 急速に流行中「マストドン」とは】

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1704/13/news131.html>

mastodon会議など数多く行われたmastodon関連イベントの様子もレポート

したが、friends.nicoも思いの外平和な空気だという。

ニコニコ文化とmastodonの親和性

mastodonのユーザーは、まだまだアーリアアダプターが多いという印象だ。エンジニアの江添亮さんも、「随かにまだ技術者や新しいものへの感度が高い人が多いと思います」と話す。

niconicoの特徴は、動画を中心とする創作文化。既存のniconicoユーザーとmastodonの間にはどんな親和性があるのか。

「今は、主にTwitterがユーザーの作品や活動を宣伝する場になっています。もしTwitterがなくなったら、日本の創作文化はシュリンクしてしまう。mastodonはその代わりに成るのではないかと思う」（栗田さん）。

米Twitterは、4月26日（現地時間）に月間アクティブユーザー数や日間アクティブユーザー数がそれぞれ増加傾向にあることを発表した。まだまだ売上高は厳しい状況が続いている。すぐにTwitterがなくなると考えるのは時期尚早ではあるが、その代わりに担う「みんなの居場所」を探す試みは決して大げさではないはずだ。

今後niconicoユーザーが増えてくれば、「歌い手」「ボカロ」などジャンル別にインスタンスを増やすことも検討するという。

niconico アカウントと連携する



エンジニアにとってもmastodonは「自由」で楽しい

江添さんは「オープンソースのmastodonは、思想も設計もとにかく自由。インスタンス間の連携があるので、1社独占で閉じた設計にできないんです。その強制的なオープン性がとても楽しい」と強調する。mastodonのライセンスは、完全なソースコードの提供を要求する「GNU Affero General Public License v3.0」（AGPL）だ。

栗田さんも「うちのエンジニアたちは、好きなことはすぐ業務時間外で作っちゃうんです」と笑う。friends.nicoの開発も、休日に開始したそう。

「オープンソースなので、競合他社のpixivともGitHub上で連絡を取り合いながら不具合を修正したりして。普段はこんなことあり得ないんですけどね」（山田さん）。エンジニアたちにも、mastodonは新鮮で楽しい体験をもたらしているようだ。

friends.nicoは「ニコる」（Twitterでいう、いいね）や、niconico動画のコメントのように投稿が流れる機能などを実装するが、中でも「niconicoアカウントとの連携は必須だった」（山田さん）という。

mastodonはインスタンスごとにアカウントを作るため、なりすましが起きやすい。自分の作品や活動を宣伝するniconicoユーザーにとってなりすまは致命的なので、外部連携機能は最優先で実装した。

現状ユーザーからの機能要望はあまりないらしく、「今はタイムラインを見てどんな投稿があるかを日々見えています。要望があれば随時対応していきます」（山田さん）としている。

ぬるかるさん、初めての超会議は「カオス」

当日は、約10万人のユーザーを抱えるmstdn.jpの管理人ぬるかるさんもmastodonブースに現れた。ニコニコ超会議に来るのは初めてで、「なかなか来るタイミングが合わなくて……カオスな空間ですね」とはにかむ。

先日公開したインタビューは読者の反響も大きく、何より理解ある温かい御両親の存在が印象的だった。

「両親は技術者ではないのですが、僕が部屋にサーバを置いているのやっていたことに気付いてたようです。ドワンゴに入社したら、技術の勉強を頑張りたい。また、mstdn.jpの管理についてもお願いしたいです」（ぬるかるさん）。

ぬるかるさんの自宅インタビューを
実施した。



mstdn.jpはfriends.nicoとすみ分けて運営する。栗田さんは「mstdn.jp

<<目次>>

第1週（2017年4月13日～15日）

Re:ゼロしたmstdn.jpが既に1万ユーザー超え（21時に3万突破） 他

第2週（2017年4月16日～22日）

Mastodon 開発者とpixivのPawoo、ロリ絵対策について議論する

ボコボコ発生しているMastodonインスタンスの現況を知る

編集部はこうしてmastodonにはまっていた 他

第3週（2017年4月23日～29日）

世界最大の「mstdn.jp」を立ち上げた大学院生「ぬるかるさん」は一体何者か

mastodonはオタク女子の楽園？ 「otajodon」管理人に聞く

mastodon会議でつまみ食いしてきた 他

第4週（2017年4月30日～5月6日）

ウーゴとmastodonと電腦出島「Masto.host」

「今のTwitterは息苦しい」ドワンゴがmastodonに込める期待

Twitter難民のための新しい避難所、mastodon 他

第5週（2017年5月7日～13日）

mastodon専門ニュースメディアは成立するのか？

「Mastodon.cloud」が「企業スポンサーが付いた」と発表 その内容は？

横断検索できるmastodon iPhoneクライアント「Tootdon」登場 他

第6週（2017年5月14日～20日）

「ネロネロじじいとクエクエばあを自負してます」——mstdn.jpのぬるかる父母、インタビューの反響について語る

mastodonのWebクライアント「Naumann」は17日昼公開

マストドン会議2 レポートその1 6月7-10日もマストドンイベント
マストドン会議2 レポートその2 ロリエロ画像問題は怎么样了のか 他
第7週 (2017年5月21日~27日)
マストドン会議2 レポートその3 テキスト全文検索に挑む Pawoo
niconico 世論調査に見る、マストドンを受け入れた世代 他
第8週 (2017年5月28日~6月3日)
言語フィルター、インスタンスミュート、新イラストを搭載したマストドン「1.4.1」リリース
Qiita ユーザー向けのインスタンス「Qitadon」が試験的に公開
テレビ局もマストドン 鹿児島を発信するインスタンス「てげどん」がスタート 他

<< 著者紹介 >>

ITmedia NEWS 編集部

マストドンムーブメントが日本で巻き起こってから一貫して最も多くの情報を発信し続けた Web メディア。中でも本書に収録した「マストドンつまみ食い日記」は細かいネタから速報まで幅広くニュースを掲載、マストドンユーザー必読のコーナーとなっている。

<< 販売ストア >>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple iBookstore、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

【株式会社インプレス R&D】 <http://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D (本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信) は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp